

東海理化グループのマテリアリティ

マテリアリティに対するリスクと機会を見極めたうえで、目標(KPI)を設定し、方針管理を行います。

	マテリアリティ	あるべき姿	リスク	機会	2021年度の取り組み	2022年度の目標(KPI)	関連するSDGs
事業を通じての課題解決	社会課題解決型商品開発	グローバルでの社会課題を把握し貢献を模索する開発姿勢	• 競争力の低下	• 既存事業の枠組みを超えた価値創造	<ul style="list-style-type: none"> SaaS型商品「FREEKEY社用車予約」のサービス開始 アップサイクル商品などの既存領域の枠を超えた商品の開発 	• デジタルキー事業でARR(受注ベース)1.26億円	
	顧客の安全・品質保証	お客さま(エンドユーザー・自動車メーカー/サービサー)へ安全・安心な製品・サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> 顧客への被害 顧客の信用失墜 	• 顧客の信頼獲得	<ul style="list-style-type: none"> 「業界No.1」必達に向けた品質確保 新事業のお客さま満足提供 「品質の東海理化」を支える基盤強化 	<ul style="list-style-type: none"> 既販車処置:0件 納入不良(法規・機能):0件 	
	情報セキュリティの推進	情報資産の適切な管理により機密漏えい、情報の改ざん、サービスの停止を未然防止する	• レピュテーション低下	• 新規顧客の開拓	<ul style="list-style-type: none"> 標的型メール訓練実施 子会社C-SIRT組織体制の整備着手・検討 	• サプライチェーンに影響するセキュリティインシデント発生:0件	
事業を支える基盤活動	安全衛生	全労働者(間接雇用も含む)の身体的精神的健康の達成	<ul style="list-style-type: none"> 従業員のモチベーション低下 人財確保困難 	• 優秀な人財の育成・確保	• 健康経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣改善活動の推進 メンタルヘルス活動の推進 「ホワイト500」継続取得 	
	人財育成	平等な機会に必要なまたは希望する教育が従業員に提供される	• 次世代を担う人財の枯渇	• 持続可能な成長	<ul style="list-style-type: none"> キャリアデザインシートや2Wayコミュニケーションシートを使い、個人別に「活躍・成長のサイクル」に基づく人財育成を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決研修の実施 ライン長研修の実施 	
	多様性(ダイバーシティ)	年齢、性別、障がい、人種、民族、出自、宗教などによるあらゆる差別を禁止し、互いを認め合い共働する	• 画一的な思考・判断	• イノベーションの促進	<ul style="list-style-type: none"> 「ダイバーシティ宣言」を発表 「ダイバーシティ推進室」を新設 ダイバーシティの理解促進活動(講演会実施) 「えるぼし」認定で最高位(3段階目) 	<ul style="list-style-type: none"> 年齢や性別に関係なく、誰もが活躍できる職場づくり 女性活躍推進 男性育休取得推進への働きかけ シニア施策の体系化 障がいを考慮したハード面の環境整備 	
	気候変動への対応	カーボンニュートラルの実現	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害の増加 エネルギーコストの増加 	• 地球温暖化問題の解決に貢献	<ul style="list-style-type: none"> 分科会活動による生産設備の省エネ改善 再生可能エネルギーの導入 ルート見直しによる輸送効率化 	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーCO₂排出量:112,806t-CO₂以下(連結) 45,846t-CO₂以下(単独) 再エネ率:8.3%以上(使用電力比) 輸送CO₂排出量:2,927t-CO₂以下 	
	環境汚染の予防	環境異常・苦情ゼロの継続	<ul style="list-style-type: none"> 法違反による生産停止 公害発生による信用失墜 	• 地域からの信頼性向上	<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメントシステムの強化・推進 環境リスクの低減活動 	• 環境異常・苦情件数:0件	
	持続可能な資源利用	資源の有効利用によるサーキュラーエコノミーの構築	<ul style="list-style-type: none"> 資源調達、廃棄物処理コストの増加 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な生産体制の構築 エコ素材使用による製品の付加価値向上 	<ul style="list-style-type: none"> 3R活動による廃棄物低減活動 収容方法見直しによる梱包包装資材の低減活動 水のリサイクル利用(半導体、メック工程) 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物原単位:0.37t/百万個 梱包包装資材原単位:0.555t/億円 各地域の水事情に応じた水資源の有効利用 	
	生物多様性への取り組み	人と自然が共生する地域社会の実現	• 自然資源の調達不安定化	<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献による企業のイメージアップ 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した里山、湿地の保全活動 グローバルでの植樹活動 	• 地域貢献につながる生物多様性の保全活動を各工場で実施	
	コーポレートガバナンス	マネジメントシステムとして機能するCSR体制により、可能な限りステークホルダーの意見を尊重した独善的でない組織の構築	• 資金調達困難	• 市場価値の増大	<ul style="list-style-type: none"> 役員のスキルマトリックスの作成 取締役会の実効性評価 	<ul style="list-style-type: none"> 取締役会において経営上の重要事項や将来に向けた事業の方向付けを行い、中期経営計画を策定 取締役会で定期的に実効報告 	
	全社CSR体制の再構築		• 優先度・方向性の定まらない活動	• 社会の持続可能性に貢献	• マテリアリティに基づく会社方針への反映と実施		
	腐敗防止	従業員の安全を考慮したうえでさまざまな形態の贈収賄を防止	• 権力と地位の濫用への加担	• 健全な官民・民民の交流を促進	• 贈収賄防止教育(海外赴任前教育)	<ul style="list-style-type: none"> 関係法令に基づく禁止事項と対応のガイドラインの設定 リスクの高い国の絞り込みと活動方針策定 	
反競争的行為	会社全体での再発防止	• 不健全な市場の助長	• 公正な自由競争市場の確立	• 独占禁止法教育	• 過去の事例を風化させない取り組み		
サプライチェーンへのCSR浸透	間接的な人権侵害への加担を防止	• 間接的反社会行為への幫助	• 社会のCSRレベルアップ	<ul style="list-style-type: none"> 仕入先CSRガイドライン策定(HP掲載) 調達方針説明会による仕入先さまへの浸透活動 	<ul style="list-style-type: none"> CSRチェックリストによる現状把握実施 人権DDパートの内容深掘り⇒仕入先さまへのCSRガイドライン改定 		